

令和2年度 就学援助（新入学用品費入学前支給）のお知らせ

小田原市教育委員会

小田原市では令和3年度小学校入学予定者（新小1）を対象に、経済的な負担が大きい方へ、新入学用品費を入学前に支給しています。ご希望の方は次のとおり申請をお願いします。

今回の申請は新入学用品費の入学前支給専用の申請です。そのほかの就学援助（学用品費・給食費等）を受けるには、4月に別途申請が必要です。

1 申請期間

令和2年10月1日（木）～12月28日（月）消印有効

この期間を過ぎた場合は、令和3年4月中に新年度の就学援助を申請してください。

2 対象者

小田原市立小学校に令和3年度入学予定（新小1）のお子様の保護者で、次のいずれかの条件に該当する方。ただし生活保護を利用している方は対象外です。

(1) 前年の世帯全体の基準所得が一定以下の方

世帯人数	2人	3人	4人	5人
基準所得目安	225万円	300万円	330万円	375万円

課税証明書の「給与所得控除後の金額」から、＜社会保険料・生命保険料・地震保険料各控除＞を引いて、残った額を基準所得としています。

基準所得の目安をご自身で計算できるシートをホームページに掲載しています。

詳しくは で検索してください。

(2) 前年度または今年度において、18歳以上の方全員が次のいずれかに当てはまる方

- ① 生活保護が停止または廃止された
- ② 市民税の非課税または減免の扱いを受けた（障がい者、寡婦等による非課税・減免）
- ③ 個人事業税の減免の扱いを受けた
- ④ 固定資産税の減免の扱いを受けた（新築減免は除く）
- ⑤ 国民年金の掛金の全額減免の扱いを受けた。
- ⑥ 国民健康保険の保険料の減免の扱いを受けた（保険料の軽減は除く）
- ⑦ 児童扶養手当が支給された（児童手当、ひとり親家庭等医療費助成ではありません）
- ⑧ 生活福祉資金の貸付を受けた
- ⑨ その他（主たる生計維持者の死亡など）

3 援助内容

■内 容：新入学用品費…小学校に入学するために必要な用品等の購入費用

■援助額：51,060 円

4 申請方法

(1) 申請書

添付の「就学援助費交付申請書 兼 世帯票」に記入例を参考に必要事項を記入、押印し提出してください。

(2) 添付書類

- ・前ページ2 (2) ③～⑧に該当する方は、証明書や通知書のコピーを添付。
(例 児童扶養手当証書、国民年金免除通知)
- ・前ページ2 (1) に該当する方で、1月2日以降に小田原市に転入した、小田原市外に住民登録している等の場合は、令和2年度の課税証明書を添付。

(3) 提出方法

教育指導課へ持参または郵送にて提出してください。

- 持 参：平日 8:30～17:15 に、市役所本庁舎 5階教育指導課へお越してください。
- 郵送先：〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地 小田原市教育指導課就学援助担当宛
 - ・郵送の場合は消印日を受付日としますのでご注意ください。
 - ・郵送の場合は電話での到着確認を推奨します。(確認電話：0465-33-1682)

5 認定通知発送日・支給日

■認定通知発送日：2月中旬 通知書が届かない場合は教育指導課へご連絡ください

■支 給 日：2月26日 申請書にご記入の銀行口座へ振り込みます

6 援助額について

援助費は国の基準改定等により毎年度変更しています。変更した場合でも、差額分の支給・返金はありませんのでご了承ください。

7 問い合わせ先

■教育指導課学事係 TEL：0465-33-1682 (平日 8:30～17:15)

令和2年度 小田原市就学援助費（新入学用品費）交付申請書 兼

記入例

小スタンプ印不可 委任状と同じ印 認定事務に当たり、小田原市教育委員会が私の世帯に係る

申請者（保護者）	住所	小田原市荻窪300番地		年月日	昭和〇〇年〇月〇〇日
	フリガナ	オダワラ	タロウ	勤務先	職業
	氏名	小田原 太郎		小田原商事	会社員
	電話番号	0465-33-1682		申請年	令和3年度就学予定のお子様を上から記載。入学予定の学校名を記載する。

日中連絡がつく電話番号

世帯の状況	氏名	申請者から	生年月日	勤務先または学区名
	フリガナ	オダワラ	イチロウ	令和〇年4月
	小田原 一郎	子	平成〇〇年〇〇月〇〇日	三の丸 小学校入学予定
	フリガナ	オダワラ	ジロウ	三の丸小学校
	小田原 二郎	子	平成〇〇年〇〇月〇〇日	城山中学校
	フリガナ	オダワラ	マナブ	無職
	小田原 学	子	平成〇〇年〇〇月〇〇日	無職
	フリガナ	オダワラ	ウメコ	無職
	小田原 梅子	母	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	無職

就学予定のお子様の次に、申請者以外の家族を記入。

スタンプ印は不可。2か所同一印を使用。

裏面のチェックリストをご活用ください。

住居形態 持ち家（本人・家族）、賃貸住宅（民営住宅、社宅、公営住宅）、その他（ ）

健康保険証 国民健康保険、日雇労働者健康保険、その他社会保険、なし（未加入）

去年及び今年の状況 該当する番号に○を付けてください

1 生活保護が停止または廃止された（停止・廃止）	5 国民年金の掛金の減免の扱いを受けた
2 市民税の非課税または減免の扱いを受けた	6 国民健康保険の保険料の減免の扱いを受けた
※3～8は証明資料を添付してください	7 児童扶養手当が支給された（児童手当、ひとり親家庭等医療費助成ではありません）
3 個人事業税の減免の扱いを受けた	8 生活福祉資金の貸付を受けた
4 固定資産税の減免の扱いを受けた（新築による減免を除く）	
9 その他 具体的な申請理由（1～8に該当しない場合は必ず記入してください）	

（例）経済的に苦しいため など
経済的に苦しいため

収入印 受付番号

口座振替依頼書

小田原市会計管理者 様
小田原市教育委員会 御中 住所 小田原市荻窪300番地

申請者の住所氏名と同一 小田原 太郎 (申請者と同一人)

振込先

金融機関名	さがみ信用 銀行・金庫・組合・農業協同組合	鴨宮 本店・支店・出張所	預金種別	普通
口座番号（7ケタ）	1 2 3 4 5 6 7	口座名義（カタカナ記入）	オダワラ タロウ ※申請者と同一人	

スタンプ印不可

小田原市就学援助費交付申請書記入チェックリスト

- ボールペンで記入した。(鉛筆、消せるボールペンで記入していない)
- 訂正箇所は2重線を引いて訂正印を押した。(修正液等は使っていない)
- 2か所に同じ印鑑で押印した。(シャチハタなどのスタンプ印でない)
- 生計が同一の世帯員を記入した。

家計など食費・光熱費などを支払っているまとまりで、例えば、祖父母と同居はしているが、家計は別々であるという場合には生計が同一でないため、申請書に記載は不要となります。

別居していても生活費、学資金、療養費などを常に送金している、又は勤務や修学等の余暇には起居を共にしている場合は生計を一にしているといえます。

- 上段の申請者名と下段の口座振替依頼書は同じ氏名を記入した。
- 証明資料のコピーを添付した。(該当者のみ)
- 正しい銀行口座を記入した。

お子様の銀行口座番号を誤って記載する例が発生しています。
ゆうちょ銀行の支店名に開設した郵便局名を記載する誤りが発生しています。
ゆうちょ銀行の支店名は「〇八二店」などの漢数字です。

- 18歳以上の世帯員はすべて市県民税の所得申告を行った。

無職や配偶者が扶養控除を申告していない場合なども全員分の申告が必要です。
会社員の場合で会社が申告している場合は不要です。